



# キャッチ通信



第56号 令和6年8月発行

## 突撃訪問インタビュー



近年、ひきこもりの方の相談が増えています。  
鳥栖市社会福祉協議会さんがひきこもり支援を行われていますので訪問してお話を聞きました。

## 鳥栖市社会福祉協議会 ひきこもり支援の担当者に話をうかがいました。

キャッチ：社協でのひきこもり支援はいつから行われているのですか？

鳥栖市社協：令和3年度から行っています。少しずつ利用者の方とつながり、支援の輪も広がっています。支援は社協だけではできないので、いろいろな人に協力してもらっています。

キャッチ：昨年とはどのような活動をされたのか教えてください。

鳥栖市社協：昨年は次のような活動を行いました。

### ① ひきこもりに関する相談

相談を受け、家族交流会やフットサルサークルを通して、信頼関係の構築に努めました。来館が難しい場合は、自宅を訪問し、面談を行うなど、対象者に合わせた支援を実施しました。

### ② こころがほっとする講演会

市民とひきこもりについて考え、ひきこもりに悩む本人や家族とつながるきっかけを作るために講演会を開催しました。

### ③ 家族交流会

相談受付や講演会への参加でつながりができた方との関係を継続させるため、毎月1回家族交流会を開催し、レクリエーションや宅食の袋詰め作業を行っています。12月にはクリスマス会を開催し、カレー作りや演奏会を行いました。

### ④ フットサルサークル

スポーツをきっかけに人と関わることで、その場にも馴染みやすく、和気あいあいとした雰囲気です活動しています。



⑤ SAGA2024 第23回全国障害者スポーツ大会

第5回ソーシャルフットボール全国大会

毎月開催しているフットサルサークルの参加者のうち2名が全国大会（SAGA2024）に出場しました。社協からは全国大会の練習に同行しました。



⑥ 農業体験

生活への活力を見出したり、コミュニケーションの機会を得ることを目的に、地域の協力を得てじゃがいも掘りのイベントを開催しました。

⑦ スポーツ観戦

鳥栖市（スポーツ振興課）から市民招待チケットを頂き、他者とのコミュニケーションの機会を得ることを目的に、サガン鳥栖や久光スプリングスの試合を観戦しました。



⑧ 就労支援

関係団体と連携し、市内企業の内職を紹介いただき、その作業に必要な工具等を整備しました。



⑨ ひきこもり支援事業実施の為の視察研修

職員の資質向上のため各種研修に参加しました。

キャッチ：いろいろな活動が行われているんですね。

大人のひきこもりの方だけではなく、子どもへの支援も何かありますか？

鳥栖市社協：はい。令和6年4月から子どもも大人も誰でも過ごせる居場所を開設し、開放しています。

キャッチ：子どもでも安心して過ごせそうですね。自宅以外にも安心して過ごせる場所があるって、とても良いことですね。くつろげそうなお部屋です。



～子どもも大人も誰でも過ごせるお部屋～

毎週 月曜・水曜・金曜 9:00～17:15

勉強でもゲームでもゆっくりくつろぐでも何でもOK

社協に来て、自宅以外の場所で、自分らしく過ごしてください。  
(利用を希望される方は、事前に鳥栖市社協へご連絡ください。)



キャッチ：最後に、ひきこもり支援に対する思いを聞かせてください。

鳥栖市社協：本人さんと話して、一緒に考え、横に並ぶスタンスでいたいと思っています。一人一人と話をしながらフラットな関係で日々関わりたいと常々思っています。なかなか難しいことだけれど、沢山の人と出会いたいと思っています。

大人も子どもも家族も支援者も、  
まずはご相談を。

鳥栖市社会福祉協議会総務福祉係  
問い合わせ先：0942-85-3555

インタビューを終えて・・・

鳥栖市社会福祉協議会では、ひきこもり支援としてまずは本人や家族とつながるきっかけを作りたい、誰かに相談する敷居を下げたいと思われているように感じました。ひきこもりは定義としては「家族以外との人間関係がなく、社会参加をしていない状態」を指しますが、決してその人が否定されることではありません。そもそも「社会参加をしないといけない」ことでもない。ただ、生きていく、生活していくって、ひきこもっていてもいなくても大変ですよ。人生の中で泣いて笑って沢山の経験があることは財産になると思います。その財産をどのくらい持っていたいかは人それぞれ。支援に求めたいこと、目指す場所も人それぞれ。鳥栖市社協ではこれからもそれぞれに合わせた支援をしたいと思われていますし、私も同じ気持ちで障害福祉の支援を行いたいと思いました。(キャッチ通信担当)

最後に、鳥栖市社協で日々ひきこもり支援に向き合っている担当者と当事者からの言葉を添えて・・・

～誰かとつながりたい。だけど…と悩んでいる方たちへ

「解決」ができなくても、一緒に考え悩むことはできます。

とりかかりは静かに入って伴走していく。本人が望めば、一緒に進んで行けます。

出会えればつながっていける。整えていける。

就労、病院とつながることだけがゴールじゃない。

あなたがどこかとつながって、「よかった」と思えたらそれでいい。

出てこれない人はそれでもいい。

あなたができることがみつかって、社会とつながって、「よかった」と思えるように支えていきたい。

そう思いながら、日々の支援を行なっています。



鳥栖社会福祉協議会 ひきこもり支援担当



～ 僕の伝えたいこと ～

僕は社協さんやキャッチさんにお世話になって、たくさんの新しいことに挑戦することができるようになりました。

中でも特に印象に残っているのが、クリスマスにバンドを組んでライブをしたことです。

今まで1人で練習していた楽器を他の人と一緒に、たくさんの人の前で披露することができました。

今までずっと1人で練習していたので、人と合わせて演奏するのはとても緊張しましたが、今までの練習の成果を披露することができて、とても嬉しかったです。

他にも、駅前不動産スタジアムのトレーニングルームで行われているフットサルも紹介していただき、運動を楽しんでいます。今までできなかったことができるようになっていくので、とても楽しいです。

今は車の免許を取ろうと思いい教習所などを調べています。とても勇気が必要だと思いますが一步前に踏み出すことで変わる事もたくさんあると思います。

これからもたくさん新しいことに挑戦していきたいと思っています。



～令和6年度鳥栖・三養基地域自立支援協議会研修会～

# 私の生活を知ってほしい

登壇者

黒岩 隆 氏(上峰町在住)

学生の頃に、進行性骨化性線維異形成症という病気を発症し、4年前に転倒してからベッド上での生活になりました。

この病気は、体の動きに制限があり、怪我をすると病気が進行してしまうリスクがあります。

自分らしい生活を探し、今では車いすで地域に出て毎日の生活を楽しまれています。

登壇者(支援者): いのち医院 猪口 寛 先生  
ユースタイルケア佐賀 森崎 一也 氏

いつも明るく楽しいお話をしてくれる黒岩さん。難病と闘いながらも、辛い顔は見せません。それでも色々思う事はあるはず…体が思うように動かない歯がゆさの中で黒岩さんが感じていること、聞いて、感じてください。

日時：令和6年10月23日(水) 14:30～16:00

場所：上峰町民センター 2階会議室

※事前の申し込みが必要です。詳しくはキャッチホームページをご覧ください。

主催：鳥栖・三養基地域自立支援協議会 障害者差別解消支援地域協議会 地域生活支援拠点検討会

編集後記：今年の夏はオリンピックが熱かったですね。勝ち負けのある世界は厳しい現実もあって、良い結果ばかりではないもの。でも、どんな結果でも選手が流している涙を見るとこちらも泣けてくる。努力って見ている人の心も揺さぶりますね。私は…ちょっとは運動しようかな(汗) <龍頭>

鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの障がい者本人、障がいのある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。障がいの種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00 (月曜日～金曜日)

9:00～17:00 (土曜日)

上記の時間帯以外でもご相談をお受け致します。事前にご連絡ください。

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

住所：佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

電話：0942-87-8956 FAX：0942-85-9003

Mail：so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

